

地域戦略研究所紀要

第8号

研究ノート

カンボジアの職業教育の現状と展望

吉村 英俊 …… 33

北九州市立大学
地域戦略研究所
2023. 3

カンボジアの職業教育の現状と展望

吉村 英俊

- I はじめに
- II 職業教育の枠組み
- III TVET(Technical Vocational Education and Training)の現状
- IV TVET が抱える問題点と展望
- V おわりに

<要旨>

カンボジアでは堅調な経済成長に伴い、労働市場が拡大し、スキルを有した人材の安定した供給が求められている。

本稿では、これら人材の育成について、まずカンボジアの職業教育の枠組みである Cambodia Qualification Framework を概括する。次に職業人材を育成する技術職業訓練校 (TVET) の現状を調査し、TVET が抱える問題点や期待を各種調査結果をもとに整理した上で、カンボジア政府が策定した TVET のマスタープランをまとめる。

カンボジアの職業教育は緒に就いたばかりであり、TVET の果たす役割が今後ますます重要になってくる。

<キーワード>

技術職業訓練校、カンボジア資格認定の枠組み、労働職業訓練省、スキル、マスタープラン
Technical Vocational and Education and Trading: TVET, Cambodia Qualification Framework : CQF, Ministry of Labour and Vocational Training: MLVT, Skill, Master plan

I はじめに

カンボジア経済は、2011年から2019年までの間、実質GDPにおいて7%前後で成長を続けてきた。2020年は新型コロナウイルスの影響で、マイナス2.0%と落ち込んだが、ワクチンなどによる感染抑制が功を奏して、2021年は4.0%、2022年は5.2%まで回復すると予測している。

経済成長により、労働市場も堅調に拡大している。産業分野毎の雇用数の推移(表1)をみると、産業分野によってばらつきがあるものの、毎年増加していることが分かる。とくにICT、物流・倉庫・輸送、金融・保険は顕著である。一方、労働市場の拡大に対して、雇用者の供給が追い付いておらず、全産業分野において労働者が不足している。とくに宿泊、健康、教育、金融・保険の分野で不足していることが分かる(図1)。それぞれの産業分野で必要とされる人

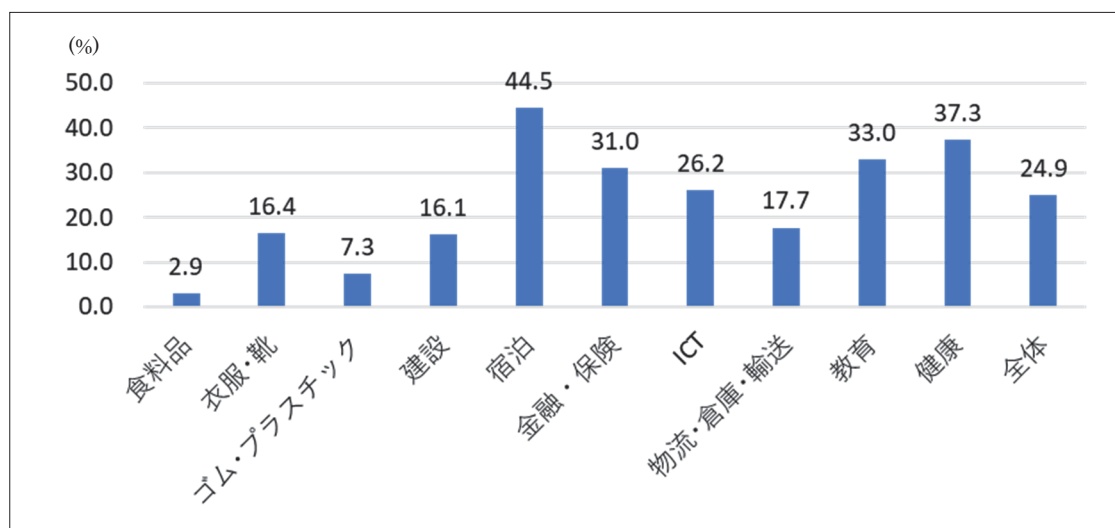
材は職能によって異なっており、宿泊においては技能の有した人材、健康や金融・保険では専門的な知識を有した高度人材を必要としていることが分かる。また食品、衣服・靴、ゴム・プラスチック、建設、物流・倉庫・輸送といった製造業や建設業、運輸業を中心とする身体を使った業務では、技能にかかるウェイトが大きいことが分かる（表2）。

こういった中で、労働市場のニーズを発展及び高度化させるスキルを有した人材を輩出するTVETは、社会経済の発展のために重要な役割を担うものであり期待されている。

表 1. 産業分野毎の雇用数の推移

産業分野	2016	2017	2018	2019	増加率(2016-2019)
食料品	16,815	17,035	17,788	19,672	17.0%
衣服・靴	742,737	742,944	760,399	765,360	3.0%
ゴム・プラスチック	30,760	32,858	34,763	34,911	13.5%
建設	7,135	7,542	7,624	7,743	8.5%
宿泊	34,652	36,680	38,534	39,633	14.4%
金融・保険	73,882	78,611	83,822	87,863	18.9%
ICT	12,757	14,012	15,429	15,639	22.6%
物流・倉庫・輸送	9,010	10,233	10,867	10,902	21.0%
教育	13,378	14,561	14,757	15,176	13.4%
健康	7,724	8,497	8,775	8,896	15.2%
合計	948,850	962,972	992,757	1,006,064	6.0%

出所、'Skills Shortages and Skill Gaps in the Cambodian Labour market: Evidence from Employer Survey 2017', p22 を加工・和訳



出所、'Skills Shortages and Skill Gaps in the Cambodian Labour market: Evidence from Employer Survey 2017', p30 を加工・和訳

図 1. 産業分野別の雇用者の不足状況 (%)

表 2. 職能別の雇用者の不足状況 (%)

産業分野	管理者・専門家	熟練技能者	技能者	単なる作業員
食料品	11.1	64.4	12.0	12.5
衣服・靴	0.8	1.9	94.6	2.6
ゴム・プラスチック	0.8	5.1	94.2	0.0
建設	33.7	8.0	11.0	46.6
宿泊	4.3	80.4	2.3	12.9
金融・保険	87.0	12.4	0.0	0.6
ICT	64.8	24.7	10.5	0.0
物流・倉庫・輸送	5.2	26.4	60.8	7.6
教育	82.8	14.9	1.7	0.6
健康	92.0	6.8	1.1	0.0
合計	27.8	27.3	38.8	6.0

出所、'Skills Shortages and Skill Gaps in the Cambodian Labour market: Evidence from Employer Survey 2017', p26 を加工・和訳

II 職業教育の枠組み

1. 資格認定にかかる枠組み (National Qualification Framework)

グローバル化の進展や教育訓練の普及に対して、多くの国では、学業成果を適切に評価するための資格認定にかかる枠組み (National Qualification Framework) を開発している。この枠組みは、学業成果や教育機関のレベルなど、教育訓練の品質保証にかかる方針・戦略であり、国際的にまた専門家の間で広く認知されるべきものでなければならない。

Cambodia Qualification Framework (CQF) は、地域間の教育訓練の差異を解消するための国家標準であり、教育機関における計画立案や評価に対して、国内外の関係者に適切な基準を提供する。また産業界に対しては、卒業生のスキルや能力を保証する。

[CQF の目的]

- ・教育訓練の学業成果にかかる資格認定に対して、国家の統一基準を提供する。
- ・職業分野の学校とそれ以外の一般的な分野の学校との間の学生の異動を容易にする。
- ・多様な教育訓練に対して、柔軟に対応する。
- ・学習の到達目標を明らかにすることにより、修学の動機づけを図る。また生涯教育の普及に貢献する。
- ・産業界のニーズに応え、国の経済発展に貢献する。
- ・海外の関係機関におけるカンボジアの教育訓練の認知を促進する。
- ・労働者の国内における流動を促進する。

本稿では、教育訓練の中でも「技術職業訓練 (Technical and Vocational Training)」に焦点をあて、その実施機関である技術職業訓練校 (Technical and Vocational Education and Training: TVET) の現状と展望について言及する。なお TVET は、労働職業訓練省 (Ministry of Labour and Vocation Training: MLVT) が所管する。

2. TVET のレベル

CQF では TVET を教育訓練の難易度や知識水準により、8つのレベルに分ける（表3）。ここでレベル2～4は、わが国の実業高校（工業高校、商業高校、農業高校）に相当する。なおカンボジアには、別途、教育若者スポーツ省（Ministry of Education, Youth and Sport: MEYS）が所管する実業学校（General and Technical High School : GTHS）があるが、創設期ということもあって TVET との役割の違いは明確になっていない。以下、CQF による。

表 3. TVET の 8 つのレベル

レベル	コース	備考
1	Vocational Certificate	中等教育レベル (高等学校相当)
2	Technical and Vocational Certificate 1	
3	Technical and Vocational Certificate 2	
4	Technical and Vocational Certificate 3	
5	Higher Diploma of Technology/Business Education	准学士 (短大相当)
6	Bachelor of Technology/Business Education	学士
7	Master of Technology/Business Education	修士
8	Doctor of Technology/Business Education	博士

出所、'Cambodia Qualification Framework', p3 を加工

[レベル1] Vocational Certificate

Vocational Certificate は、エントリーレベルから学習を始めようとする学生、またさまざまな理由（例、貧困など）で修学を途中で辞めた学生や障がい者、少数民族などを対象に、実用的な知識とスキルを習得することを目的としている。プログラムは、実践的な職業訓練と最低限の座学で構成され、フルタイムの学生で通常4～6カ月の修学期間を必要とする。

[レベル2] Technical and Vocational Certificate 1

Technical and Vocational Certificate 1 は、特定かつ簡単な仕事を行うために、実践的な技能及び職業訓練と最低限の座学を学習するものであり、フルタイムの学生で通常1年間の修学期間を必要とする。

[レベル3] Technical and Vocational Certificate 2

Technical and Vocational Certificate 2 は、さまざまな状況下で、幅広い知識とスキルを応用するために、実験やワークショップを含む実践的な職業訓練と座学を学習するものであり、フルタイムの学生で通常1年間の修学期間を必要とする。

[レベル 4] Technical and Vocational Certificate 3

Technical and Vocational Certificate 3 は、さまざまな状況下で、広範かつ専門化された知識とスキルを応用するために、実験やワークショップ、応用研究、実務経験を含む実践的な職業訓練と座学を学習するものであり、フルタイムの学生で通常 1 年間の修学期間を必要とする。

[レベル 5] Higher Diploma of Technology/Business Education

Higher Diploma of Technology/Business Education は、高度なスキルを必要とする准専門的な実務に取り組むための広範かつ専門的な知識と、スキルを持って統合化された技能及び理論を応用するために、実験やワークショップ、応用研究、実務経験を含む実践的な職業訓練と座学を学習するものであり、中等教育（高等学校）を修了した学生で通常 2 年間の修学期間を必要とする。

[レベル 6] Bachelor of Technology/Business Education

Bachelor of Technology/Business Education は、産業と高度な技能を必要とする職業を総合的に理解するために設計され、専門的かつより高度なスキルを必要とする実務をさまざまな状況下で取り組むための広範かつ首尾一貫した知識を応用するものであり、最新の研究を精緻に分析したり、知識やスキルを効果的に訓練したりする。また学生は関連する分野の知識や理論についても知見を深めなければならない。中等教育を修了した学生で通常 2~4 年間（専攻する分野で異なる）の修学期間を必要とする。

[レベル 7] Master of Technology/Business Education

Master of Technology/Business Education は、さまざまな状況下で専門的な課題に対して高度な知識を応用するものであり、基本となる科目を発展させたり、高度な職務上の経験から知識やスキルを引き出したりする。研究に加え、研究の管理を行ない、重要なプロジェクトに参加して実務を主体的に遂行する。学士課程を修了した学生で通常 2 年間の修学期間を必要とする。

[レベル 8] Doctor of Technology/Business Education

Doctor of Technology/Business Education は、専門的かつより高度なスキルを必要とする実務をさまざまな状況下で取り組むために広範かつ首尾一貫した知識を応用するものであり、専門分野における高度な学識、知識の創造・解釈・応用、関連分野の研究を含み、独創的な研究に注力する。修士課程を修了した学生で通常 3~6 年間の修学期間を必要とする。なお博士号には、研究博士号（PhD）、専門職博士号（医学、工学、教育、ビジネスなど）、名誉博士号（CQF には含まれない）がある。

3. CQF の構成

CQF は、各レベルを修学単位 (Credits)、学習の到達目標 (Learning Outcomes)、進路 (Study Pathway) の 3 つの視点からを説明している。

[修学単位]

1 科目の修学に必要な時間は、一般的な座学であれば 15 時間、実習・ワークショップは 30 時間、フィールドワーク・インターンシップは 45 時間である。

レベル 2~4 では、資格認定にあたり 30 単位を修学しなければならない (表 4)。ただし実務経験がある場合は、学習と能力の修得状況をみて短縮することができる。またレベル 5 (短大相当) では 60 単位、レベル 6 (学士相当) では 120 単位必要である。なお特別なプログラムの場合、標準的な単位数以上の単位の取得が通常必要とされる。レベル 7 (修士相当) は 24 もしくは 39 単位の座学に加え、研究論文とプロジェクト活動を必要とし、最低 2 年間、修学しなければならない。最高位のレベル 8 (博士相当) は、3 年の修学期間の中で、54 単位と研究論文、プロジェクト活動を行い、修士を上回る高度かつ独創的な知識とスキルを身に付けなければならない。

表 4. コースト修学単位、修学期間

レベル	コース	修学単位	修学期間
1	Vocational Certificate	—	4~6 ヶ月
2	Technical and Vocational Certificate 1	30	1 年
3	Technical and Vocational Certificate 2	30	1 年
4	Technical and Vocational Certificate 3	30	1 年
5	Higher Diploma of Technology/Business Education	60	2 年
6	Bachelor of Technology/Business Education	120	2~4 年
7	Master of Technology/Business Education	24+研究論文 or 39+プロジェクト活動	2 年以上
8	Doctor of Technology/Business Education	54+研究論文	3 年以上

出所、'Cambodia Qualification Framework', p5 を加工

[学修の到達目標]

学修の成果は、基礎的能力と中核的能力に大別され、それらは 5 つの領域：①知識、②認知スキル、③精神運動スキル、④対人関係スキルと業務遂行スキル、⑤コミュニケーション、情報技術と数的処理スキルに分けられる。

①知識

状況やコンセプト・方針・理論、手続きについて、正しく受け止め、理解し、説明したりすることができる能力。

②認知スキル

どうしたらよいか尋ねられたとき、また予期せぬ状況に直面したときに、クリティカルシン

キングや問題解決のコンセプトや原理、理論、手続きを使って適切に対応することができる能力。

③精神運動スキル

1つ以上のスキルを容易に実行できる能力。

限定的ではあるが、努力して自発的にものごとを実行することができる能力。

スキルをバランスよく修得することができる能力。

一貫性を持って、1つ以上のスキルを融合する（組み合わせる）ことができる能力。

指示に対して、適切にスキルを実行することができる能力。

④対人関係スキルと業務遂行スキル

個人及び職業上の学習を続けることができる能力。

リーダーシップを発揮して、グループ活動を効果的に実行できる能力。

個人及び職業上の人間関係に対して、責任を持って行動できる能力。

公共の場にあつて、高いモラルの持ち、首尾一貫して行動できる能力。

⑤コミュニケーション、情報技術と数的処理スキル

対話や文章によって、効果的にコミュニケーションすることができる能力。

情報技術やコミュニケーション技術を使うことができる能力。

基礎的な数学や統計手法を使うことができる能力。

[進路]

CQF は、進路を変更するときや上位のコースへ進学するときの要件（すでに修得した科目の認定や修学単位の移行など）を示している。

また CQF は、個人の実務経験や自主学習によって修得した知識やスキルを評価し、上位のコースへ進学の機会を与えることにより、生涯教育を推進することとしている。

Ⅲ TVET(Technical Vocational Education and Training)の現状

1. TVET の集積状況

現在 25 の州に 106 の TVET がある（以下 *General Information of TVET Institutes* による）。その内訳は MLVT が管理する TVET が 39（表 5）、民間の TVET が 41、NGO の TVET が 26 ある。MLVT が管理する 39 の TVET のうち、8 つが首都プノンペンに立地し、さらにそのうち 6 校（表 5：★印）が工業・建設に特化した TVET である。

表 5. MLVT が管理する TVET

No	TVET の名称	立地場所 (province)
1	★NATIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE OF CAMBODIA (NPIC)	PHNOM PENH
2	★NATIONAL TECHNICAL TRAINING INSTITUTE (NTTI)	PHNOM PENH
3	★PREAH KOSSOMAK POLYTECHNIC INSTITUTE (PPI)	PHNOM PENH
4	NATIONAL INSTITUTE OF BUSINESS (NIB)	PHNOM PENH
5	NATIONAL INSTITUTE OF ENTREPRENEURSHIP AND INNOVATION (NIEI)	PHNOM PENH
6	★INDUSTRIAL TECHNICAL INSTITUTE (ITI)	PHNOM PENH
7	★CAMBODIAN-THAI SKILLS DEVELOPMENT INSTITUTE (CTSDI)	PHNOM PENH
8	★JVC TECHNICAL COLLEGE (JVC)	PHNOM PENH
9	REGIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE TECHO SEN TAKEO (RPITST)	TAKEO
10	REGIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE TECHO SEN BATTAMBANG (RPITSB)	BATTAMBANG
11	REGIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE TECHO SEN SVAY RIENG (RPITSSR)	SVAY RIENG
12	REGIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE TECHO SEN SIEM REAP (RPITSSR)	SIEM REAP
13	REGIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE TECHO SEN KAMPOT (RPITSK)	KAMPOT
14	BATTAMBANG INSTITUTE OF TECHNOLOGY (BIT)	BATTAMBANG
15	NATIONAL VOCATION INSTITUTE OF BATTAMBANG (NVIB)	BATTAMBANG
16	POLYTECHNIC INSTITUTE OF PREAH SIHANOUK (PIP)	PREAH SIHANOUK
17	NATIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE OF ANGKOR (NPIA)	SIEM REAP
18	PREAH SIHANOUK CAMBODIA CHINA FRIENDSHIP POLYTECHNIC INSTITUTE (PCCFPI)	PREAH SIHANOUK
19	POLYTECHNIC INSTITUTE OF PURSAT PROVINCIAL (PIPP)	PURSAT
20	POLYTECHNICINSTITUTE OF KAMPONG CHAM PROVINCIAL(PIKP)	KAMPONG CHAM
21	POLYTECHNIC INSTITUTE OF BANTEEAY MEEANCHEEY PROVINCE (PIBMC)	BANTEAY MEANCHEY
22	POLYTECHNIC INSTITUTE OF KAMPONG THOM PROVINCE (PIKT)	KAMPONG THOM
23	KAMPONG SPEU PROVINCIAL TRAINING CENTER (KSPTC)	KAMPONG SPEU
24	KOH KONG PROVINCIAL TRAINING CENTER (PTCKK)	KOH KONG
25	KAMPONG CHHNANG PROVINCIAL TRAINING CENTER (KCHHPTC)	KAMPONG CHHNANG
26	KANDAL PROVINCIAL TRAINING CENTER (KDPTC)	KANDAL
27	PROVINCIAL TRAINING CENTER STUNG TRENG (PTCST)	STUNG TRENG
28	RATANAKIRI PROVINCIAL TRAINING CENTER (PTCRK)	RATANAKIRI
29	KRATIE PROVINCIAL TRAINING CENTER (PTC KRATIE)	KRATIE
30	PAILIN PROVINCIAL TRAINING CENTER (PLPTC)	PAILIN
31	ODDOR MEANCHEY PROVINCIAL TRAINING CENTER (PTC/OMC)	ODDOR MEANCHEY
32	PREAH VIHEAR PROVINCIAL TRAINING CENTER (PTCPVH)	PREAH VIHEAR
33	VOCATIONAL TRAINING CENTER PREAH VIHEAR-YALAY (VTCPV-ALAY)	PREAH VIHEAR
34	MONDOKIRI PROVINCIAL TRAINING CENTER (PTCMDK)	MONDOKIRI
35	PREY VENG PROVINCIAL TRAINING CENTER (PVPTC)	PREY VENG
36	PROVINCIAL TRAINING CENTER OF TBOUNG KHMUM (PTCTK)	TBOUNG KHMUM
37	KEP PROVINCIAL TRAINING CENTER (KPTC)	KEP
38	BOENG NIMOL VOCATIONAL TRAINING SCHOOL (BVTS)	KAMPOT
39	ROLANG VOCATIONAL TRAINING SCHOOL (RVTS)	PURSAT

出所、'General Information of TVET Institutes', pp3-4 を加工

2. 工業系 TVET のプログラム

プノンペンに立地する製造・建設に特化した TVET (表 5 : ★印) が提供するプログラムについて、以下に記す。なお NIEI にも工業系のプログラムがあるが、同校はビジネス系がメインであるため、ここでは除外した。

特徴的なのは、機械、電気電子、建設分野の学科はあるが、化学分野の学科がないことである。カンボジアには化学工業の集積があるとはいえないので、勉強しても就職先がないことから、現時点では妥当だといえるが、化学工業は産業構造上、重要な分野であることから、人材を育成することで、今後集積が期待される。なおこれはニワトリと卵の議論に近い。また機械や自動車、コンピュータなどの“修理”の学科が多く、電気 (Electricity) と電気工学 (Electrical Engineering) の違いは分からない。その他、現在のところ博士課程はなく、NTTI と JVC に修士課程がある。また NTTI には TVET の教員を育成する師範の学科がある。JVC は自動車に特化しており、修士課程はあるが、学士や准学士のコースがない。NPIC においては、同校が韓国の借款でつくられたことから、韓国語の学科がある。CTSDI には、マッシュルームの栽培やニワトリの飼育などのユニークな学科がある。

[NPIC] NATIONAL POLYTECHNIC INSTITUTE OF CAMBODIA

Bachelor of Technology Education	Higher Diploma of Technology Education	Technical and Vocational Certificate 1,2,3	Vocational Certificate
電気工学	電気	電気	韓国語
電子工学	電子	溶接	料理
土木工学	土木・建設	旋盤	
建築工学	機械	自動車修理	
機械工学	メカトロニクス	コンピュータ修理	
エネルギー工学	自動機械	眼鏡	
コンピュータ科学	エアコン	料理	
自動機械修理	コンピュータ科学		
自動化	食品加工		
データ通信	眼鏡		
技術管理	英語		
輸送・エネルギー			
会計			
旅行管理			

出所、'General Information of TVET Institutes', p10 を一部和訳

[NTTI] NATIONAL TECHNICAL TRAINING INSTITUTE

TVET Trainers Training	Master of Technology Education	Bachelor of Technology Education	Higher Diploma of Technology Education	Technical and Vocational Certificate 1,2,3
シニアレベル	土木・建設	土木工学	土木・建設	土木・建設
ジュニアレベル	電気	電気工学	電気	電気
		電子工学	電子	コンピュータ修理
		情報工学	情報技術	
		建築		

出所、'General Information of TVET Institutes', p11 を一部和訳

[PPI] PREAH KOSSOMAK POLYTECHNIC INSTITUTE

Bachelor of Technology Education	Higher Diploma of Technology Education	Technical and Vocational Certificate 1,2,3
電気工学	電気	電気（回路・配線）
電子工学	電子	左官
土木・建設工学	土木・建設	エアコンサービス
情報工学	情報技術	配管工事
会計・財務	会計・財務	
経営	経営	
マーケティング	マーケティング	

出所、'General Information of TVET Institutes', p12 を一部和訳

[ITI] INDUSTRIAL TECHNICAL INSTITUTE

Bachelor of Technology Education	Higher Diploma of Technology Education	Vocational Certificate
電気工学	電気工学	エアコン
自動車工学	自動車工学	自動車
金属工学	金属工学	自動車電気システム
情報技術	情報技術	印刷
空調工学	空調工学	金属加工
	溶接・組立	小型エンジンメンテナンス
		溶接

出所、'General Information of TVET Institutes', p15 を一部和訳

[CTSDI] CAMBODIAN-THAI SKILLS DEVELOPMENT INSTITUTE

Bachelor of Technology Education	Higher Diploma of Technology Education	Technical and Vocational Certificate 1,2,3	Vocational Certificate
電気工学	電気	電気配線（ビル内）	エアコン
土木工学	土木	自動車メンテナンス・修理	バイク修理
	エアコン	エアコン修理	仕立・洋裁
		コンピュータサービス	化粧品
		金属溶接	マッシュルーム栽培
			ニワトリ飼育

出所、'General Information of TVET Institutes', p16 を一部和訳

[JVC] JVC TECHNICAL COLLEGE

Masters Degree of Technology Education	Technical and Vocational Certificate
自動車工学	自動車修理

出所、'General Information of TVET Institutes', p17 を一部和訳

IV TVET が抱える問題点と展望

カンボジアでは、現在 1 年間に約 31 万人の労働者を必要としているが、MLVT によれば、TVET は僅か 62,348 人（2019 年）しか輩出できていない。またスキルを有した人材の供給は十分ではなく、質・量ともに改善が必要である。

JICA 産業界のニーズに応えるための職業訓練の質向上プロジェクトの調査(2016a)によれ

ば、カンボジア日本人商工会製造部会の加盟企業は、カンボジア人技術者について、基本的なスキルや知識の不足、生産ラインリーダーとしての力量不足や積極性に欠ける姿勢、英語やコミュニケーション能力の不足などを問題点として挙げている。また TVET の短大相当 (Higher Diploma of Technology Education) の卒業生について、企業の現場に必要な安全衛生意識や 5S・カイゼン意識、技術者として必要な基礎的知識 (自然科学)、社会人・職業人としての素養・社会常識 (ソフトスキル) が身につけていないなどを問題点として指摘している。とはいえ、これら企業においてはカンボジア人技術者の仕事ぶりを評価しており、今後、生産ラインの工程管理や設備の修理等の保全、品質管理などの生産工程に関する業務に従事させたいと考えている。

一方、カンボジアの非日系企業(製造業・建設業など)を調査した結果 (2016b) によれば、TVET の短大相当の卒業生について、企業のニーズに合致するような教育や訓練が行われていないと考えており、実践的かつ技術的的技能及び知識が身につけていない、一定の技能に関する訓練・実習が十分になされていない、安全衛生意識や 5S・カイゼン意識が身につけていないなどの問題点を挙げている。ただし日系企業同様に、現在の仕事ぶりから向上していくことが期待でき、今後、生産ラインの設備の保全業務や工程管理などに従事させるなど、生産現場のマネジャーとして活躍することを期待している。

JICA が、プノンペンに立地する工業系の TVET (NPIC・NTTI・PPI) の卒業生を対象に行った調査 (JICA, 2017) では、責任感やソフトスキルの欠如、知識や技能の改善の必要性を問題点及び課題として挙げている (図 2)。

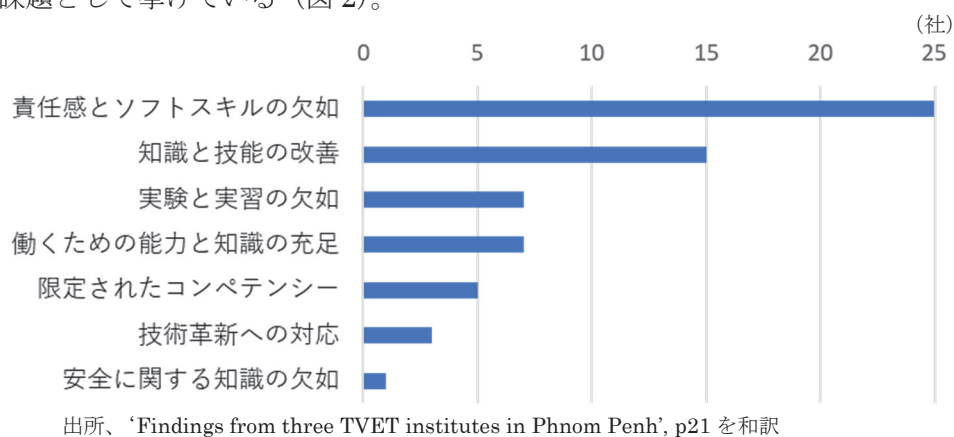
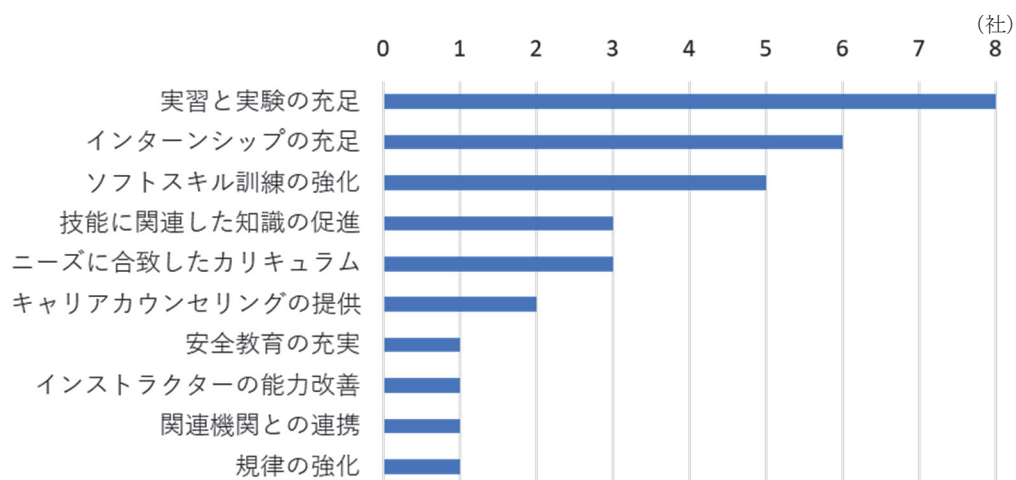


図 2. TVET の卒業生が考える TVET の課題

同様に、製造業や建設業、IT などの企業を対象に行った調査 (JICA, 2017) では、十分な実習や実験、インターンシップの提供、ソフトスキル訓練の強化などを問題点及び課題として挙げている (図 3)。



出所、‘Findings from three TVET institutes in Phnom Penh’, p18 を和訳

図 3. 地域企業が考える TVET の課題

こういった状況から、MLVT は 2021 年から 2025 年に及ぶ「マスタープラン」を策定して、産業界が必要とする人材を育成することとしている。具体的な目標値としては、TVET で約 40 万人に技術職業訓練を施し、毎年 80,000 人を産業界に輩出する。実現に向けた基本戦略・問題点・対策は次のとおりである。以下、マスタープラン（Brief of TVET Master Plan）による。

[基本戦略]

- TVET ビルの建設
- 管理的職員及びインストラクターの能力強化
- 施設や実験機器の充足
- TVET の質的・量的充実

[問題点]

- 施設や教室、寮の不足
- 実務経験を有した教員の不足
- ツールや材料のニーズとのアンマッチ
- 卒業生の供給不足
- TVET 部門の予算不足

[対策]

- 職場環境の改善
- 産業界との連携
- TVET の近代化
- 国内外における仕事の確保
- 社会保障基金の設立
- 総合支援サービスの促進

MLVT はこれらの戦略・対策を実現するために、少なくとも \$ 493.1million を必要としているが、政府予算で賄うことができないため、国内外の関係機関や学生の父兄、学生を必要としている企業などに対して、何らかの負担を期待している。なお現在、MLVT は進行中のプロジェクトを JICA や ILO、GIZ、SDC などの協力を得て実行している。

前述の技術職業訓練を受講した学生を年間 80,000 人輩出するためには、MEYS が所管する TVET（例えば、GTHS）の協力が必要である。

一方、MLVT の職員と TVET の教職員との間の意思の疎通が十分にできていないため、実行性に問題があると指摘されている。そのため、両者のコミュニケーションの円滑化と強化を図るため、MLVT は TVET の教職員の活動を監視・評価し、教職員の能力や適性に配慮して、教職員を配置することになっている。

マスタープランによれば、MLVT は問題点や課題、対策を TVET セクターに開示することにしており、JICA はこれをカンボジアの社会経済発展へ貢献するためのさまざまな支援や援助を継続する機会と捉え、次のような措置を講ずることになっている。

- ・協力をとおして訓練機器を充足する。
- ・電気分野の指導者を育成するために、日本や第三国に指導者を送り込む。または専門家をカンボジアに派遣する。
- ・PPP を強化するために、民間企業と TVET の間のコーディネートを行う。この交流により、相互の理解が深まり、TVET は PPP や民間企業の投資を促進するために自らの役割や改善すべきことを自覚することができる。
- ・JICA 仕様による訓練機器を調達するために ADB と連携する。

TVET の展望を記した計画書に、前述の TVET Master Plan の他に、National Technical and Vocational Education and Training Policy 2017-2025 (2017) というものがある。これはカンボジア国民の暮らしと品位・尊厳を改善すること、そしてそのために知識・コンペテンシー・スキル・高貴な所作・高い倫理観・競争力を有した人材を育成し、生涯に亘って安定した雇用を生み出すことを目的としている。ここでは TVET の戦略を 4 つに分け、それぞれの方策を提起している。なお当ポリシーは、ADB の支援によって策定されたものである。

[戦略 1] 国内外の労働市場の需要を満足するように TVET の質を改善する。

- ・CQF にもとづいて、品質保証システムを継続して発展させていく。
- ・教員の質、教授法、教育にかかる施設や設備を、技術開発の実状や労働市場のニーズを踏まえて改善する。
- ・機器や教員を最大限活用するために、産業経済地区に技術職業パークを造る。

[戦略 2] TVET へのアクセス（利用・入学など）を増やす。

- ・柔軟な進路決定を提供して、TVET への入学を増やす。
- ・女性や社会から疎外されているグループ、貧困青年、退学者、移住者、原住民のニーズに注力することにより、ライフスキルを習得するためのさまざまな機会を拡大する。

- ・研修機関やステークホルダーに対して、資格取得のための枠組みにもとづいた TVET を拡大するための方法やしきみを強化する。
 - ・キャリア指導や職業スキルにより、また支援活動やマーケティングをとおして、TVET の認知度を高める。
 - ・ワンストップサービスを設立し、TVET に関連する便利なサービスを提供する。
- [戦略 3] TVET の持続可能な発展のために、ステークホルダーを集めて PPP を促進する。
- ・TVET のステークホルダーと協力して PPP を促進する。
 - ・技術の進展に対応したスキルを強化し、労働市場のニーズを踏まえた研修カリキュラムを開発するために PPP を拡大する。
 - ・国家スキル開発基金を設置するために、ステークホルダーと調整・協調を図るためのしきみをつくる。
 - ・TVET の卒業生を受け入れる企業に対して、学生への報酬方針を策定し、貧困学生や女性、原住民に対して奨学金を提供する。
- [戦略 4] TVET のガバナンスを改善する。
- ・労働市場の需要を踏まえたスキル訓練に連結した TVET を規定する枠組みを強化する。
 - ・TVET を運営するための結果にもとづいた資金提供のしきみを開発する。
 - ・TVET の管理情報システムや労働市場情報システムを継続して改善し、労働市場の予測やスキルのニーズの評価を強化する。

V おわりに

堅調に経済成長するカンボジアにあって、産業界のニーズを満たした人材を安定して供給することは、経済発展を図る上で欠かせない。この人材育成を担う TVET の役割は、今後ますます重要になってくるものと思われる。

TVET の教育体系のベースとなる CQF は、レベル分けに関して問題はないと考える。とくに貧困や障がいなどによって、学習の機会が閉ざされていた若者を積極的に受け入れようとする「Vocational Certificate」の設置は評価できる。また産業界のニーズが高い「Higher Diploma of Technology Education」は、調査結果でも指摘されていたように、実践的な教育訓練やソフトスキルの充実が必要であり、今後改善が必要である。なお、各レベルの学習の到達目標は定性的であり、レベル間の違いが曖昧で分かりづらい。また 2012 年の策定から 10 年が経過することから、定量的な指標を追加するかたちで改訂されることが望まれる。

TVET については、全国に 39 校あり、首都プノンペンには 8 校（うち工業系 6 校）ある。学習科目のすみ分けや、TVET 間の連携がなされているのかどうか、疑問が残る。カンボジア政府の予算は決して多くないことから、それぞれの TVET が特徴を持ち（例えば、JVC は自動車の特化している）、重複を回避し、経営資源を有効活用することが望まれる。このことは MLVT のリーダーシップに期待したい。

マスタープラン及びポリシーについては、点としては理解できるが、面としての一貫性や関

連性が見られない。またこれらのプランをどのように実現していくのかという具体的な計画がない。プランで終わってしまうのではないかと、懸念される。

カンボジアには、MEYS が所管する職業教育学校 (GTHS) もある。GTHS は歴史が浅く、未だ導入期にあるが、有能な職業教育機関として強化されていくものと思われる。省庁間の壁をなくし、両省が連携し、すみ分けを図ることで、職業教育の総合力が高められる。

カンボジアの職業教育の充実が、同国の経済を成長へと導き、人々の生活を豊かにしてくれる。緒に就いたばかりで改善の余地が多くあるが、少なくともよい方向に向かっていることに間違いはない。

(本学 経済学部 教授 吉村英俊)

[参考文献]

JICA 産業界のニーズに応えるための職業訓練の質向上プロジェクト(2016a)「カンボジア日本人商工会製造部会における産業界のニーズ調査結果-参考要約-」

JICA 産業界のニーズに応えるための職業訓練の質向上プロジェクト(2016b)「カンボジアの非日系企業における産業界のニーズ調査結果-参考要約-」

Cambodia, National Employment Agency. (2018) Skills Shortages and Skill Gaps in the Cambodian Labour market: Evidence from Employer Survey 2017

Cambodia, National Training Board. (2012) Cambodia Qualification Framework

Cambodia, Ministry of Labour and Vocation Training. (2019) General Information of TVET Institutes

Cambodia, Royal Government of Cambodia. (2017) National Technical and Vocational Education and Training Policy 2017-2025

JICA. (2017) Findings from three TVET institutes in Phnom Penh

JICA Cambodia Office. (n.d.) Brief of TVET Master Plan (2021-2025)